

※ 今週のアウトルック(9/19~9/22)

先週ドル円は金曜日に148円台目前までドル高が進み、そのまま週末を迎えました。今週に入ってからはやや下落しています。

その他のクロス円は狭いレンジ内での動きから、やや下落方向へ動いている通貨ペアが多いようです。

今週は21日の早朝にFOMCを控え、前半は動きづらい展開となりそうです。大半の予想は据え置きという事なのですが、その後のFRB議長の会見、に注目が集まっているようです。

先週のドル円は、週末に148円台目前まで上昇してそのまま週末を迎えました。今週に入り、ロンドン市場タイムでは147円台後半で推移しています。

今週は21日の早朝にFOMCを控えていることから週前半は動きづらい展開となりそうですが、今のうちに148円付近のレジスタンスを突破しようという動きが出てきてもおかしくないかもしれません。

FRB議長の会見でインフレを注視している等の発言が出なかった場合には、一気にドル売りに転じる可能性も考えておいた方が良いでしょう。

ドル円の予想レンジは145円から150円です。

先週のユーロは、木曜日にユーロドルが1.06318まで下落しました。その後、何とか持ち直してはいるものの1.06付近のサポートで支えきれぬかどうか、まだ安心はできない状況は続いています。

今週は英国、スウェーデン、スイスなどの政策金利の発表も予定されており、ユーロ売りが誘発される可能性も危惧されているようです。

ユーロ円はテクニカル的には156円付近までの調整があってもおかしくはない状況のようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは155円から160円です。

ポンド円も小さな動きの中、やや下落を示唆するような動きが出ています。今週の政策金利の発表次第では、182円付近のサポートラインを割って、一度180円付近まで調整する可能性はあるように思います。

ポンド円の予想レンジは180円から187円です。

米ドル円はまだ上昇余地がありそうな状況ですが、日銀総裁がマイナス金利解除を匂わせるような発言も出ており、今週の会見次第ではドル円に大きく影響する可能性も考慮しておいた方が良さそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。